ほっとひと息、ホットな話題

Hot Space

市長コラム

しんげの一言メッセージ

スマホを使ってみよう

皆さまはスマートフォンいわゆる「スマホ」をお持ちです か?

8月に発表された総務省の『令和2年度 情報通信白書』に よれば、我が国におけるスマートフォンの普及はこの10年 で急速に伸び、世帯の保有率は2010年の9.7%が昨年2019年 には83.4%へと、8割を超えました。これはパソコンの69.1 %、固定電話の69.0%を大きく上回っています。また、昨年 の個人のスマホの保有率は67.6%。携帯電話・PHSの24.1 %を大きく上回り、国民の3人に2人は所有しています。

「まだまだ高齢者には普及していない」という声もあ りますが、実は高齢世代のインターネット利用率は2018 年から2019年の1年間で60歳代が76.6⇒90.5%、70歳代が 51.0⇒74.2%、80歳代が21.5⇒57.5%へと、格段に増えまし た。これはパソコンでなくスマホの普及によるものです。

スマホの便利な点は、まずはインターネットの情報を掌の 上で見られる点です。世界で何が起きているかを瞬時に知 り、調べたい情報をすぐに手に入れることができます。

またSNS(※)の利活用です。すでにライン(LINE)などを ご家族との連絡に使っている方は大勢おられると思います。 SNSは災害時にも力を発揮します。多くの市民の皆さまが

てい

いますの

SNSで市とつながれば、瞬時に災害情報をお届けできるでし ょう。

そして最近ではスマホでのキャッシュレス決済が注目され ています。特にコロナ禍で直接現金を手にしないスマホ決済 は、これからの新しい日常でも有効です。市では市内経済対 策の一環でペイペイ (PayPay) 株式会社と連携協定を締結 しキャンペーンを実施します。

もちろん、個人情報の流出や、ネット上での悪質な情報流 布、使いすぎによる心身への悪影響など、スマホ利用には課 題も多いことも事実です。しかしこれからの時代、やはりあ った方が便利であることは間違いありません。正しく利活用 し、新たな時代の人生をより豊かにしていただければと思い

市では今後高齢者、また視覚障害者の皆さまに向けたスマ ホ利用促進の講習会も開催します。ご自身で、またご家族お 知り合いにお知らせいただき、どうぞご活用ください。

※SNS…ソーシャルネットワーキングサービスの略。つながって いる人同十のさまざまな情報交換ができるネットトのサービス。ラ インやツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど。

本庄市長 吉田信解

催中止について令和2年度ふれ てい 感染拡大防止のため 10月24日出に開催を予定 は、 た、 新型コロナウ 「令和2年度

中

-止とな イル ふれ愛

ス

市民福祉

★市民課☎25 ください

お 知 れ愛祭の

開

類等につ

·続きに必要な本

人確認書

も引き続 (交付時

ジ又は左記

へお問

11

合 わ

せ \sim

れ 愛祭実行 委員会事務

付申請について、 窓口でも受け ナ バ 市役所の窓 力 付け ドの交 ます

,ー安誠園移転の-庄東地域包括支援セン

必要な顔写真の撮影支援も行 を開始します。 口でも受付(申請時来庁方式) 申請から交付までの流れ で、 ご利用くだ 申請に ご注意ください 移転前の住所 本庄東地域包括支援センタ

移転後の住所 小和瀬1 6 6

市民課

(市役所

階)

又は

支所市民福祉課

、スピア

こだま内)

人が申

なお、

電話番

7

0

17

安誠園が次のとおり移転 相談にお越 の際は

お見積いは無料ですのでお気軽にお雷話 お待ちしております

リフォーム・増改築専門店 上里町七本木3652-2

9:00~20:00

お知らせ

お困りごとなど、お気軽にご相談ください。



メガネ·補聴器の板垣

キャッシュレス推進に関する 包括連携協定を締結



8月5日、市と PayPay 株式会社は、「キャッシ ュレス推進に関する包括連携協定 |を締結しました。 この協定により、キャッシュレス社会の推進をは じめ、商業振興や観光振興に関する施策について連 携して取り組み、キャッシュレス決済の多様化と推 進に向けた施策を協働で実施します。

★商工観光課☎25-1175

災害時における応急対策の 協力に関する協定を締結



8月19日、市と埼玉土建一般労働組合本庄支部は、 「災害時における応急対策の協力に関する協定」を 締結しました。

この協定は、市内で発生した自然災害の際に、被 災した建物の補修等の災害応急事務に迅速かつ的確 に対応することを目的とするものです。

★危機管理課☎25-1184

でんごん広場

みなさんの情報交換の場 (行)=行事

塙保己一先生を講談で聴く会主催 辻講釈を楽しむ会(行)

日時 9月20日(日) 午後1時30分~3時 会場 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫

1,000円 定員 70名 (先着順)

問合せ 高橋☎080-5536-2475

まちかどSnap

古民家カフェ「大門家」・農村ミュージアム「かねもと蔵」 養蚕業の発展を今に伝える

児玉町小平地区に旧養蚕農家住宅(高窓の家)を改修した 古民家カフェ「大門家」と、養蚕道具などを展示する農村 ミュージアム「かねもと蔵」がオープンしました。

これらは、一般財団法人地域活性化センターの移住・定 住・交流推進支援事業を活用して実現。新型コロナウイルス の影響で、予定よりも遅れた7月26日に正式オープンとなり ましたが、地域の養蚕業の発展を伝える新たなスポットが誕 生しました。



大門家のおすすめメニューは、手打ちうどん





高山社の分教場でもあったかねもと蔵は、地域の養蚕業の発展に寄与。蔵には、 養蚕道具や当時の写真など約200点が展示されている。オープン日には関係者に説 明が行われた

◆古民家カフェ 大門家

児玉町小平585 ☎72-5706 営業時間 午前11時~午後2時 ※午後6時~10時は要予約。

定休日 月・火曜日

◆かねもと蔵

観光農業センターで事前予約

★観光農業センター☎72-6742 営業時間 午前10時~午後5時 定休日 木曜日

※これまでの郵送やスマ

★介護保険課☎25

変更あ

りませ 担当区域に

ージでも聴くことがで

きます 図書館本館

★広報課**☎**25

広報課

の貸

し出

ドを郵送

人宛にマ

2 6 2